

マルセイニュース 9月号

発行日 2018/9/20

株式会社 マルセイ
浦河町東町うしお1丁目

〒057-0005 TEL0146-22-5123

北海道の全地域が停電 深い暗闇の中、夜空の美しさにハッとした夜

北海道中が
暗闇に包まれたあの夜
何を思いながら過ごしましたか？

幸いにも浦河では
死傷者がありませんでした
星空を眺める余裕があったのは
しあわせなことでした

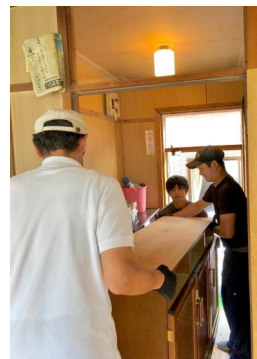


9月6日 大通り2丁目の星空写真 提供 中川貢さん



“信頼される仕事”を心掛けながら… 「片付け」のご依頼にお応えします！

この9月は片付け仕事の依頼が相次ぎました。どうして？と不思議に思った私たちでしたが、わかったのは「マルセイさんに頼むといいよ」と、お客様が新しいお客様を紹介してくださっていたということでした。ありがたいことです。お客様の信頼にお応えできるような仕事ができる会社を目指します！



片づけ仕事を 始めてから 13年になりました

マルセイが「クリーン事業部」スタートしました！と宣言したのは、今から13年前のことです。

「このたびマルセイでは、これまでの一般廃棄物収集運搬の経験を活かし、個人のお客様も対象にした清掃サービスを提供する『クリーン事業部』を発足させました。仕事の内容を従来のようにゴミ処理業務だけに限定せず、ゴミ分別やご家庭の片付け、物置などの解体、家屋内部の清掃、庭、草刈りなどの「環境整備」全般をお引き受けしています。例えば、ご高齢の方がご自分ではできないでいるゴミ捨てや清掃などがあれば、小さな仕事からでも取り組みます。どうぞお気軽にご相談下さい。」
2005年7月20日発行
マルセイニュース第8号より

クリーン事業を始めたきっかけも、お客様からのご紹介によるものでした。ご依頼主は札幌に住んでいらっしゃるご家族でした。一人暮らしの母親が施設に入居する

ことになって借家を返すことになったものの、遠方に暮らす自分にはできない。そこで、私たちに片付けて欲しいというご依頼でした。以来、多くの片付けをお手伝いさせていただいて来ました。

思いがけない応援

今月は、家の中の片付けと共に、大きな庭石も処分する仕事がありました。機材を持っていない私たちです。力を合わせて何とかしようと頑張っていたものの、正直途方にくれていました。(笑)そんな時、見知らぬ方から思いがけない応援をいただきました。ユニック車であったという間に解決！本当にありがたかったです。

あとでお礼にお伺いすると、「あそここの父さんにはお世話になったから」とぼつりと言。片付けさせていだだいたお宅の故人とその方とのご縁のおかげだったのですね。ジーンと来ました。これからも、ひとつ一つの片付け仕事に一生懸命に取り組んでいきます。



「この石を、どうやって車に載せる？」…みんなで知恵と力を合わせて何とかしようと四苦八苦していた時でした。ユニック車と共に思いがけない助け人が登場！全く見ず知らずの私たちの仕事を助けて下さいました。感謝！！



安心な「定期配送」も、電話でのご注文も… マルセイの「灯油配送」をご利用ください！



私たちが、灯油配送にお伺いします！

この冬の灯油配送は、マルセイをご利用ください。お仕事の都合などで夕方6時以降の配送をご希望されるお客様には、配送日時のご相談にも応じています。お気軽にご相談ください。

どうぞ、「相談下さい」

すっかり秋風ですね。そろそろ冬支度の準備を始める時季です。気になる灯油価格も今年はガソリン同様に高値が続いています。販売店としても、少しでも値段が下がってほしいと願っていますがこの冬は厳しいかもしれません。

「ほのぼの号」と名付けたタンクローリーがマルセイに来てから、早くも3年の月日が過ぎました。潮風の影響もあり、ずいぶんサビが目立つようになりましたが、まだまだ、この冬もうーんと頑張ってもらいます！



うん。やっぱりガスだよ！ 「災害に強いLPガス」を再確認！

「平成30年北海道胆振東部地震」が発生！浦河は地震よりも停電による被害や影響に悩まされました。電気は地震発生と同時に使えなくなったものの、LPガスと水は大丈夫だったので、私たちはかなり安心な状況でした。停電の長期化から生じた様々な不都合から、電気に依存して暮らしている現実を思い知らされましたね。北海道295万戸の全世帯が電力を失うという、前代未聞の体験となりました。この経験から学んだことを、毎日の生活の中で活かしていきたいですね。

大きな地震でしたが、寒い時季でなくて本当に良かったと誰もがそう思ったはずです。真冬だったらどうなっていたでしょう。皆さんは、電力がなくても使える暖房器具の備えはしてありますか？緊急時に必要な防災グッズや備品を、本気でチェックして準備をしておくと思います。

東日本大震災の後、マルセイでは「ガス発電機」を会社に常備していました。停電初日、ガス発電機が大活躍！充電式ライトや携帯電話の充電など、余震の不安も続く中で夜間の有事に備えた準備もできました。

**停電の長期化に
ガス発電機を出動！**



ガス発電機を使って緊急対応！

**復旧も早く、
災害にも強いLPガス**

LPガスは、都市ガスや電力などの系統供給と違って、容器に充填したLPガスを各戸に配送をする「分散型」供給を行っています。だから、災害発生時にガスの供給が遮断された時でも、配管などの調査・点検が個別に短時間で可能。異常があった時にも、迅速に復旧させることができます。さらに、緊急時のエネルギー源として、避難所や仮設住宅等にも迅速に供給することも可能なエネルギーです。

**水とガスがあれば
食事にも困らなかった**

今回の地震では、「停電でお湯を沸かすこともできなかった」と本当に困っておられた方もいました。一方、LPガスを使っているお客様からは、「水とガスが大丈夫だったのでご飯の支度にも困らなかったよ」と安堵した声が聞かれました。

北海道全戸という、もう二度とあつてほしくない大規模な停電でしたがLPガスが災害に強いということを再認識しました。「備えあれば憂いなし」と言いますが、今後、防災の対策や備えを勉強してお伝えできたらと思います。

お客様の中から「特賞」当選者がありますように！ 2018 感謝の懸賞キャンペーン 実施中！

今年も北海道LPガス協会の感謝キャンペーンが始まります。残念ながら、昨年は当社のお客様の中から当選者がいませんでした。初めてのことであったんですよ。

**先ずは、忘れずに
ご応募下さい**

当社のお客様の中には、2度3度と当選された方もいる当選率の高いキャンペーンです。なので、お客様には毎年の応募をおすすめしています。今年はあなたが当選するかもしれませんよ！



小さく運んで 大きく使えるLPガス

「LPガス」は液化したガスをボンベに詰めて皆様にお届けしています。大量の気体のガスが小さな容器に「ギュッと」押し込まれて、日本全国どこにでも運ばれ、皆様の暮らしの中の様々な場所で、でっかく活躍しています。





大黒座100周年 おめでとう！そして、ありがとう！

大黒座は、北海道に今ある映画館の中で最も古い映画館です。当初は芝居小屋として大正7年9月1日に創業されました。映画が大隆盛だった昭和の頃は、220席もある立派な映画館でした。現在の48席の映画館は、平成6年に新築されました。4代目館主の三上雅弘さん、加寿子さんご夫妻によって、クリーニング店での営業も行いながら映画館の灯りが守り続けられています。



浦河町民のみなさま、この秋も大黒座では話題作の上映が続きます。面白そうな映画ばかりです。ぜひ、百周年の大黒座で映画を観ましょう！

なぜでしょうか。映画好きな人の間では、大黒座はちよつと有名なところもあるでしょう。だって、百年も続いている映画館なのですから。でもそれ以上に、三上さんご夫妻が選んで上映している映画のラインナップがすごい！そんな理由もあります。映画館がいくつもある札幌でもなかなか観るチャンスのない映画だって、実は大黒座では上映されているんです。

百年も続いた映画館が町にあるなんて、本当にすごいことです。その価値は、よその人の方が評価しているかもしれません。大黒座には、わざわざ町外から映画を観に来るお客様がいて、その中には常連の方だっているそうです。

大黒座で
映画を観よう！

☆話題作が目白押し



2018年度 浦河アイヌ協会イチャルパ（先祖供養祭） アイヌ文化交流会

日時：2018年9月2日（日）
ところ：堺町生活館
主催：浦河アイヌ協会

最近、なんとなくくちあちこちで目にするようになってきたかな？と感じていた「イランカラプテ」という文字。アイヌの人々のあいさつ、「こんには」の意味だそうですが、ご存知でしたか？

文化に触れて心を知る
アイヌ文化を学ぼう

「イランカラプテ」を北海道のおもてなしの合言葉として普及させることからアイヌ文化への興味・関心を抱いてもらおうと、北海道では平成25年から「イランカラプテ」キャンペーンというのを実施しているそうです。知りませんでした。でも考えてみると、「ハロー」や「ニハオ」は知っているのにアイヌ語の「イランカラプテ」は知らないなんて、これってなんだか・・・恥ずかしいですね。だって、北海道の市町村名のうち約8割がアイヌ語に由来していて、「浦河（うらかわ）」の地名もそのひとつです。

「ウララ ペツ」は「霧川」が由来で、アイヌ語で「霧」のことを「ウララ」と言い、「川」のことを「ペツ」と言います。「ウララ」の音に「浦」の字をあて、「ペツ」を「河」に訳して命名されました。
2013年11月の町報「生涯学習 ニュース」浦河の地名由来（？）より

さて、最近は大人気漫画『ゴールデンカムイ』の影響もあって、アイヌ文化が注目され見直されています。そして、実は浦河アイヌ協会も注目されているんですよ。8月末にはNHKの全国放送で、浦河アイヌ協会が伝承されてきた知恵や技術が大きく紹介されました。その中でも特に注目されていたのがアイヌ料理なんです。「アイヌ料理を食べたら浦河へ」と言われているほど豊富でおいしいと評判です。

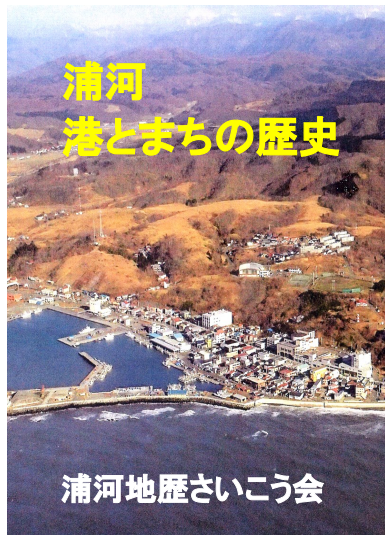
「イランカラプテ」から入門して
アイヌ文化を学ぼう

9月2日（日）、先祖供養のイチャルパとアイヌ文化交流会が執り行われました。毎月練習を重ねている古式舞踊の披露と共に、たくさんのアイヌ料理が用意された試食会だったそうですよ。（私は参加できなかった残念でしたが、文化に触れるとその心も伝わるかな？とアイヌ刺繍を習おうと試みています。）さて、次の機会は秋の感謝祭でしょうか。誰もが「絶品！」と言うキンキンのチタプも試食してみたいです。

マックス



写真提供：アイヌ文化交流会参加 野上由香さん



浦河の地歴を再考し、町の再興に活かしたい

■ わたしたちの町の歴史を描こう！

浦河・港とまちの歴史絵本プロジェクト

「浦河地歴さいこう会」

浦河発展の礎である“港とまちの成り立ち”を町民みんなで共有して活かしたい！ この春から「浦河地歴さいこう会」の皆さんが活動を始めました。浦河の地理と歴史をあらためて学び直し、これからのまちづくりに役立てようと『浦河・港とまちの歴史絵本プロジェクト』が進行中です。浦河の今にいたるまでをみんなで調べて絵本を作ります！浦河に移住された方も積極的に参加して活動している70代の方々たち。皆さん、イキイキされてますね～♪これはちょっと「浦河地歴さいこう会」からも、目が離せませんよ～^^

8月～9月は資料の分析と、まち歩き実施による現地調査と講演会を計画。

「まち歩き」や「講演会」も開催

5月～7月は資料の収集や現地調査を実施。7月21日の「うらフェス」にも参加しました。マーケット会場の『古写真・絵図でたどるパネル浦河展』では、興味深く見入っていた町の人の姿がみられましたね。



浦河には安政（1855）～1860年からの歴史的な資料があるそうです。そんな貴重な資料も活かして浦河の地歴を再考し、まちを再興したいと発足した「浦河地歴さいこう会」が春から活動中です。

自分のまちの成り立ちを知ってこれからの町づくりに活かしたい！



ルピナスの丘から港と町を見ながら...

今後、10月～12月は鳥瞰図の作成と講演会の開催。1月～3月には絵本の編集と印刷、製本、配布を予定しています。「こどもから高齢の方まで親しめるよう、港とまちの歴史をわかりやすく楽しい絵本にします。」その絵本の完成が楽しみです。

8月26日、江戸時代末期に松浦武四郎が記した浦河の地名や明治初期の地図と絵図を基に浦河の成り立ちを実感しようと「まち歩き」を開催。9月4日には、都市デザイナーの国吉直行氏を招いて、『開港都市の港とまち』講演会も開催されました。



プラタモリ ならぬ、ブラリうらかわ！

浦河は、老若男女を問わず、これらの人々が力を寄せ合える所であると思います。

今年の四月、浦河の地理や歴史を再考（さいこう）し、これか

移住した浦河で地域活性化に協力したい

は、自然の岩礁を利用しその上に丈夫な壁を築き、室蘭から厚岸の間の唯一の良港とすることをめざすものでした。

昨年九月に家族で浦河に移住し、早いもので一年になります。神奈川県に生まれ育ち横浜で四五年間暮らした者にとつて、この冬は都会人の軟弱さをしみじみ感じさせるものでした。しかし、多くの心優しい方々と出会い、楽しく乗り越えることができました。



宮澤さん、もうすぐ浦河で2度目の冬を迎えますね^^

このまちづくりの再興（さいこう）を目指して、「浦河地歴さいこう会」を設立しました。地域を活性化するには、「よそ者（外部からの客観的視点）」、「若者（しがらみなく挑戦できる行動力）」、「ばか者（既成概念にとらわれない発想力）」を持つ人々が、協力しあえることが大切であるとされています。浦河は、老若男女を問わず、これらの人々が力を出し合える所であると思います。よそ者だった私も、この会の活動を通じてこれらの浦河のまちづくりに協力できたらと願っています。

今年度は「港とまち」をテーマに、「まち歩き」や収集した資料を基に、子どもから高齢の方々まで楽しめる「絵本」を作成し、末永く親しんで頂けたらと思っています。また、浦河のまちづくりを考えるために、九月四日、都市デザイナーの国吉直行氏を招いて「開港都市の港とまち」を題材に、楽しいお話をさせていただきます。今後とも、浦河に訪れて下さるまちづくりに詳しい方々との交流を深めて行く予定です。どうぞ、よろしくお願い致します。

「浦河地歴さいこう会」

宮澤 好（よしみ）



「歴史に着眼して作ったものは残ります」。都市デザイナーの国吉さんの言葉が印象に残った講演会でした。

『私が死んでもレシピは残る 小林カツ代伝』

中原一步(1977~) 著



最近読んだ
本の中より…



著名な料理の先生ともなると、食材を扱う店の店員は上等なものをすすめてくる。カツ代を見つけた店員が話しかけてきた。「カツ代さん、今日は活きた車海老とかどうですか？お安くしておきますよ」見ると一尾二百円。カツ代は笑いながらこう切り返した。「私はね、いつお亡くなりになったか分からない冷凍のブラックタイガーでいいのよ。エビフライだって何だって、それで十分おいしいから」（本文より）

料理研究家の故・小林カツ代さん。NHK「今日の料理」の先生。1970年代から約30年もの長きにわたり、家庭料理研究家として大活躍しました。著書は200冊以上。テレビ・ラジオの出演も多く、なかでもグリコの熟カレーのCM「カレーはね、一晩寝かせたほうが断然おいしいの。でも、作ってすぐ食べた方がいいよ」で小林さんを憶えている方もいらっしゃるのではないでしょうか。まさに、この分野での圧倒的な存在といえる方でした。

料理の鉄人に 勝ったおばちゃん

人気番組『料理の鉄人』に出演したときのこと、本書では詳しく紹介されています。わたしも、たまにたま見たこのときのことを忘れられません。中華の鉄人・陳建一さんを相手に勝ちつちやっただけですね。瞬間に何品もの料理を作り、持ち時間を余してあっけらかんと「あらー、まだ作れるわねえ」とのたまったカツ代さんの姿をよく憶えています。本書は、そんなカツ代さんと長年仕事をしてきた中原一步氏による評伝です。

読後の感想ですが、読み始める前の思い込みが見事にくつがえされました。それでいて、たしかにカツ代さんはこういう人だったに違いないとも思いました。

わたしは「家庭料理」という言葉から、じつに安易に「料理は愛情」というようなことが本書にも書かれているのだから、勝手に高をくくっていました。カツ代さんは、わたしのようになく「料理は愛情」という身勝手な思い込みと闘った方でした。

「料理は愛情」。日々時間に追われて働く女性には、この言葉はきわめて残酷だった。仕事でクタクタになつて家に帰り、お腹をすかせてベソをかく子どもをあやしながら、夫の帰宅に間に合うように夕ご飯を作らなくてはならない。

（本文より）

早くできても 手抜きではない

カツ代さんは、そんな働く女性が「楽しく家族と食卓を囲む」ために、短時間でおいしくできる料理の膨大なレシピを考案し続けた。化学である「早く出来たからといって手抜きではない」

「早く出来てもおいしいものはおいしい」。これが、カツ代さんの信念でした。付け加えますが、愛情を否定したわけではありませんが、信念の人だったので敵も多かったようですが、家族やスタッフには愛され続けた人でした。

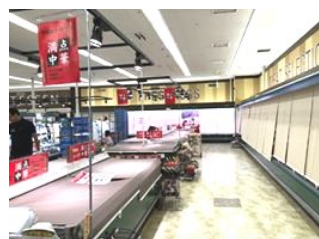
日々の料理は 楽しく作りたい

「らくらくと料理作りができたなら 人生どんなにラクでしょう 苦しいことや つらいこと いっぱいはいらない あるなかで、せめて日々のお料理は 底抜けに明るく 楽しく作りたい。まゆにしわ寄せするより、ちよつとインキキしちやつたとウフツと笑って作りたい。それでも絶対だいじようぶお味見できる舌を持ち、おいしくおいしく作ろうと思ふころと手があれば」

作 小林カツ代

わが家の食卓でつながらた長ネギが登場するたびに「大当たり！」と笑う妻の料理。これも良しとしましょうか。わたしも、最近思うところがあつて玉子焼きの焼き方を教わりました。下手でも、自分で焼いた玉子焼きは美味しく、なんだか嬉しいんですね。

社長



地元の企業は大切ですが、地震から数日が過ぎ、ガラスの陳列棚の中で唯一供給されていたのは、町内の大井豆腐店さんの商品でした。



事業所さんも、この後これらを分別して排出。

9月6日から 長時間、電気が止まり… 大量の食品廃棄が！

長時間の停電で冷蔵庫がストップ。食品販売のルールで決められた「期限」を遵守せざるを得ず、膨大な量の食品が止むを得ず捨てられました。廃棄を指示した人、運搬した私たち、運び込んだ廃棄物の最終処分場に追われたクリーンプラザのみなさん。食べられる食品を生かすことはできなかったものかと思ひました。「今回の反省を活かさない」と、重い言葉だと思ひました。

屋外に運び出した商品（パン、カップ麺、水などが中心）を移動販売車のレジを使って会計。おつり銭にも配慮。50円や100円単位で端数を切り捨てた金額で売られていたことには後で気づきました。緊急災害時とあつて、採算は度外視して販売していたそうです。

営業していたコンビニには食料や水、電池などを買い求める人が長蛇の列。店内には入れなかつたもののCOOPパセオさんは、とにかくお客様が困らないように売れるものは！と、可能な限りの販売をされていました。

暑い日だったので、帽子代わりにダンボールを、私とばつるも、1時間並んで買い物をしました。





野菜たっぷりのチキンカレーに目玉焼きをトッピングしましたよ。ガスグリルで焼いたかぼちゃも美味しかったです。

災害時に実力発揮！



ガスでおいしくクッキング

非常時の「カレーライス」は最強！

9月6日、胆振日高大地震が発生！『LPGガスは災害時にも強い味方です。』というのは本当でした。北海道全域が停電という最悪の状況でしたが、水とガスが使えたので食事の支度はバッチリ！こんな時はやっぱり、みんなで『カレー』です♪



ええ、わたしの大好きな鶏皮はどこにある？入ってる？



●材料

- ・鶏肉… 冷蔵庫にあった分
- ・生姜とニンニク… 適量みじん切り
- ・タマネギ… できるだけたっぷり
- ・にんじん、じゃがいも… 適量
- ・ズッキーニ… これ、いけます！
- ・ピーマン各種… パプリカは甘い！
- ・サラダ油… 少々
- ・市販のカレールー… 各種入れます
- ・塩・コショウ… 適量
- ・しょうゆ、ソース、ケチャップ、ジャム、チョコレート、酒など色々適量を加えます ^^

●作り方 マックスの急いで作ったカレーレシピ ^^

- 1、鍋に油を入れて、にんにくと生姜のみじん切りを香りが立つまで炒めてから食材を加えて炒め、塩コショウを加えます。
- 2、ジャガイモの外側に火が通り透き通った色になったら、水を加えて強火で煮ます。
- 3、アクを取りながら、各種調味料などを加え、煮汁の味を自分好みの味に調整しま～す。フフフ
- 4、市販のカレールーを加え、最後に塩などで最終の味に調整します。



簡単グリル料理！

- 1、グリル調理器に、野菜を切って並べる
- 2、オリーブオイルと塩コショウを少々振りかける
- 3、上下火で加熱する

かぼちゃがあったので、ささっとグリル調理♪

火加減や時間は使いながら習得中。でも、基本的に野菜を並べて塩コショウをしてオリーブオイルを振りかけたらグリルで焼くだけ。それだけでおいしい焼き野菜の完成！

停電中のランチタイム！

「ガスで炊いたご飯」はおいしいよ！



非常時の「カレーライス」は最強のメニューでしたね～。次に作るとしたら、やっぱりあったかい「豚汁」でしょうか。それにしても、この非常時に改めて大切だと思ったのは水や食料の備蓄。いやそれよりも、「非常時は突然にやってくる！」という事実でした。今後は乾物や缶詰のメニューも勉強しなくっちゃ！ですね。



■ この日は、大地震が発生した9月6日(木)

北海道全戸が停電という信じられない緊急事態の中で、朝からみんなで仕事を進めて迎えたお昼です。こんな時こそしっかりと腹ごしらえをすることが大事ですが、パッと作れてボリュームのある献立はやっぱりカレーライス！ですね？マックスが自宅にあった食材で野菜たっぷりのチキンカレーを作りました^^

停電中でしたが、ありがたいことに水とガスが使えたので普通に食事の支度ができました。ガス屋であることをちょっと誇らしく思えた私たちです^^

「やっぱりガスだね！」と、電灯が点かなくても、いつもの休憩室のいつものテーブルで食べたカレーライスはおいしかったです。非常時にみんな揃って囲んだ会社での食卓は、いつも以上に幸せな食卓に思えました。



断水へ備えて「水」を確保



社長のちょっと長いコラム

僕の青春のサウンドトラック5 Char(チャー)

ロック・ギタリストCharチャー。今年で63才になりますが、今でも現役バリバリのミュージシャンです。格好いいですよ。ええ。わたしが最初に聴いたCharの演奏はというと、おそらく山崎ハコのレコードだと思っています。山崎ハコのアルバム『飛びます』(1975年)に「サヨナラの鐘」という名曲が収められているのですが、この曲で素晴らしいギターを弾いているのがCharです。あいにく手元にそのレコードがないのですが、わたしの記憶では本名の竹中尚人です。クレジットされていたと思います。この曲はハコさんの楽曲でも指折りの名曲だと思うのですが、当時はよく聴いたものです。

Char(チャー)はこのあとすぐに『気絶するほど悩ましい』や『逆光線』の連続ヒットで、テレビの歌番組にも毎日のように出演する存在となりました。これら一連のヒット曲はあまり好きではありませんでしたが、当時チャーが『俺が日本の歌謡曲のサウンドを変えてやる』と言っていたのを聞いて、ほーそういう意図があるのかと感心したものでした。わたしはCharの最初のアルバム1976年発表が好きてました。とくに2曲目の『かげろう』という歌が好きです。天野さんの詩がいいんです。天野さんは残念ながら52才という若さで亡くされましたね。この曲は今でもたまにCDで聴きます。



歌番組に頻繁に出演していたCharでしたが、いつの間にかテレビでは見かけなくなっていました。その頃にたまたま手に

取った週刊誌で読んだ記事のことを、今も覚えています。モノクロの写真付きで、マスメディアで見かけなくなったCharを「あの人は今どこへ」風の書き方で取り上げていたのです。テレビに出ずっぱりだった人気者がヒット曲もなく、地方を廻っている。いつの間にか結婚もして、しかも子どもまで生まれた。そして街を歩くお婆家族の写真を掲載し、あろうことかあの伊達男が赤ん坊のオムツまで替えるのを筆者は目撃した・というような記事でした。驚きましたよ、この記事には。内容のくだらなさもありますが、Charは自分のバンドで全国ツアーに歩き、当時も日本のトップ・ミュージシャンだったんですから。ただテレビには出ていなかったというだけなんですけどね。

理屈じゃなくカッコいいミュージシャン！

先日、「チャー・ミーツ・ギタリスト」という番組を見ました。Charがゲストにギタリストを一人選んで対談とギグ(即興演奏)をする、という番組です。相手はシーナ&ロケッツの鮎川誠さん。鮎川さん、70才なんですね。驚きです。でもいくつになってもカッコいい。人間がステキだ。結局Charも鮎川誠も、ずっと変わらずにアーティストじゃなくてミュージシャンの道を選んできた。だからカッコいいんだなあと思います。理屈じゃなくて。

Charのことをカッコ良いとこれだけ褒めてきて言いづらいのですが、実は彼のライブを見たことはありません。そもそもギター・ロックの愛好家でもないです。ただし妻からは、十数年前に見たジョニー・リスとチャーのライブがいかに最高だったかを聞かされ続けてきました。3才年上ですが自分と同年代と言ってもいいCharの演奏を見てみたいなあという気持ちになっています。というわけで、12月に札幌に来るCharを聴きに行こうかどうかどうしようかと迷っている今日このごろです。



さのぱわふる日記



皆様、地震による被害は大丈夫でしたか？わが家は地盤が良いので、地震の揺れに気づかずに寝ていることが多いのですが、さすがの私も今回の長い揺れで目が覚めました。

しかし、津波の心配がないというので、また眠りについてしまいました。社長は、地震後すぐに着替えをし、いつでも出勤が出来るように待機していたとのこと。さすがです。

でも、話を聞くと、とてもそのままでの恰好で外には出ることが出来ないような服装だったというところもあったようで：社長曰く「マルセイの社長、あんなステテコをはいて寝てるのかわりと笑われる」とのこと。見てみたかったな。とこんな冗談を言える状況で済んだので浦河は良かったです。



地震の後にガス検針があり、被害がなかったか点検をしながら回りましたが特に問題もなく一安心。お客様からは、「ガスで良かったわ」「ガスが使えたから助かったよ」などと声をかけていただきました。



断水になるという噂もあり、慌てて水を鍋などに汲んでおいたのですが、断水にはならなかったのですが、鍋のお水はガスで沸かしてお風呂に入れラタンを灯して入浴。

息子から安否確認のメールがきたので「鍋でお湯を沸かしてお風呂に入る用意してる」と教えたと「は？風呂入ろうとしてんのかよ(笑)」と：

電気が使えなかったけどガスとお水が使えたので助かりました。普段は当たり前と思って生活していますが、一つでも欠けるとこんなにも大変なんです。文明開化に感謝！

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

夏季期間(4月~9月) 定休日：日曜・祝祭日 営業時間 8:15~5:15 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3
TEL 0146-22-5123